# 平成26年３月期　第１四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年８月２日


上 場 会 社 名　　株式会社リーガルコーポレーション　　上場取引所　東
コ ー ド 番 号　　7938　　URL http://www.regal.co.jp
代　　表　　者　（役職名）代表取締役社長　　（氏名）岩崎　幸次郎
問合せ先責任者　（役職名）常務取締役　管理本部長　（氏名）安田　直人　　(TEL) 047-304-7084

四半期報告書提出予定日　　平成25年８月13日　　配当支払開始予定日　　－
四半期決算補足説明資料作成の有無　　：無
四半期決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

## １．平成26年３月期第１四半期の連結業績（平成25年４月１日～平成25年６月30日）

### （１）連結経営成績(累計)

（%表示は、対前年同四半期増減率）

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 26年３月期第１四半期 | 8,531 | 3.1 | 750 | 15.9 | 855 | 25.8 | 266 | △35.7 |
| 25年３月期第１四半期 | 8,277 | 5.1 | 647 | 8.9 | 680 | 11.4 | 414 | 72.4 |

(注) 包括利益 26年３月期第１四半期　340百万円(　△12.1%)　25年３月期第１四半期　387百万円(　△9.6%)

| | １株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後１株当たり四半期純利益 |
|---|---|---|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 26年３月期第１四半期 | 8.87 | 8.81 |
| 25年３月期第１四半期 | 13.86 | 13.79 |

### （２）連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---|---|---|---|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 26年３月期第１四半期 | 30,352 | 12,540 | 41.0 |
| 25年３月期 | 30,126 | 12,275 | 40.4 |

(参考) 自己資本 26年３月期第１四半期　12,442百万円　25年３月期　12,185百万円

## ２．配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 第１四半期末 | 第２四半期末 | 第３四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 25年３月期 | － | 0.00 | － | 5.00 | 5.00 |
| 26年３月期 | － | | | | |
| 26年３月期(予想) | | 0.00 | － | 5.00 | 5.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　　：無

## ３．平成26年３月期の連結業績予想（平成25年４月１日～平成26年３月31日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | １株当たり当期純利益 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第２四半期(累計) | 17,150 | 1.1 | 900 | △12.9 | 1,000 | △26.7 | 400 | △57.7 | 13.39 |
| 通期 | 36,800 | 1.8 | 2,350 | △3.6 | 2,450 | △12.3 | 1,350 | △36.3 | 45.18 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　　：有

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動　　：無

（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

新規　　ー社（社名）　　、除外　　ー社（社名）

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：無

②　①以外の会計方針の変更　　：無

③　会計上の見積りの変更　　：無

④　修正再表示　　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| ①　期末発行済株式数（自己株式を含む） | 26年３月期１Ｑ | 32,500,000株 | 25年３月期 | 32,500,000株 |
| ②　期末自己株式数 | 26年３月期１Ｑ | 2,009,896株 | 25年３月期 | 2,618,127株 |
| ③　期中平均株式数（四半期累計） | 26年３月期１Ｑ | 30,033,780株 | 25年３月期１Ｑ | 29,885,884株 |

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料３ページ（３）「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 ……2
（１）経営成績に関する説明 ……2
（２）財政状態に関する説明 ……3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 ……3
２．サマリー情報(注記事項)に関する事項 ……4
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 ……4
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ……4
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 ……4
３．四半期連結財務諸表 ……5
（１）四半期連結貸借対照表 ……5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 ……7
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 ……9
（継続企業の前提に関する注記） ……9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） ……9
（セグメント情報等） ……10

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第１四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新政権による積極的な金融緩和をはじめとした各種デフレ脱却および経済成長施策への期待感から円安・株高が進み、景気回復への明るい兆しが見られました。しかしながら、上昇を続けていた株価も調整局面を迎え、円安による輸入物価の上昇や欧州の債務問題および新興国経済の鈍化などが懸念され、景気の先行きは依然として不透明な状況となっております。

靴業界におきましては、新たな異業種の参入や通販、ネット販売の増加などにより競争が激化している状況のなか、一部では高額品消費に回復の兆しが見られたものの、円安による調達コストの上昇で、売上総利益率の低下などが見られました。

このような環境のなか、当社グループは、ブランド特性に応じた販売チャネル別の営業体制の下で、店頭売上を重視した営業活動を展開し、主力である「リーガル」は、「信頼・信用」の代表ブランドとして競争力と付加価値の高い商品の開発・提案を行ってまいりました。また顧客ニーズに対応したカジュアル・コンフォート商品の開発強化などに注力するとともに、販売施策による売上総利益率の改善にも取り組んでまいりました。

この結果、当第１四半期連結累計期間の売上高は8,531百万円(前年同四半期比3.1%増)、営業利益は750百万円(前年同四半期比15.9%増)、経常利益は855百万円(前年同四半期比25.8%増)となりました。四半期純利益におきましては266百万円(前年同四半期比35.7%減)の計上となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

①靴小売事業

靴小売事業では、店舗業態ごとの販促企画や顧客ニーズの変化に対応した店舗改装の実施、またカジュアル・コンフォート商品の品揃えを充実させるなどの各種施策により売上の拡大に努めました。

業態別では、「リーガルシューズ店」、「シューズストリート（ネット通販）」、「シェットランドフォックス店」、および「アウトレット店」が堅調に推移し、靴小売事業全体では前年売上実績を上回る結果となりました。

ブランド別では、主力ブランドである「リーガル」を中心に、顧客ニーズに対応した付加価値の高い紳士のビジネスシューズや履き心地を重視した「リーガルウォーカー」が紳士靴、婦人靴ともに好調に推移いたしました。また端境期である5月に実施した販促企画の成功が好調の要因でもあります。

当第１四半期連結累計期間の店舗施策につきましては、リーガルシューズa.k.aイオンモールむさし村山店を新規で出店し、リーガル日本橋店を移転改装するとともに、不採算店舗２店舗を閉店するなど、店舗運営の効率化を図りました。（直営小売店の店舗数134店舗、前年同期末比１店舗増）

この結果、当第１四半期連結累計期間の売上高は3,824百万円（前年同四半期比1.7%増）、営業利益は230百万円（前年同四半期比1.6%減）となりました。

②靴卸売事業

靴卸売事業では、店頭売上を重視した営業活動を推進し、顧客ニーズに対応した競争力と付加価値の高い商品開発に注力するとともに、業態ごとのオリジナルアイテムの開発や売場提案を行い、取引先に対し当社商品による囲い込み施策等を展開いたしました。

紳士靴は、新政権によるデフレ脱却にむけた取組みによる円安・株高が追い風となり、しばらく低迷していたビジネスシューズ市場が好転し、当社におきましても主力ブランドである「リーガル」を中心に、値ごろ感のある「ケンフォード」のビジネスシューズが好調に推移いたしました。

また履き心地を重視した「リーガルウォーカー」につきましては、新たにサンダルやアウトドア・コンフォート等、対象顧客のライフスタイルや生活シーンを想定した新しいカテゴリーの商品提案等を行い、売上増加に貢献いたしました。

婦人靴は、春先からの天候不順の影響で店頭でのサンダルの動向が例年に比べ遅れましたが、紳士靴同様に「リーガルウォーカー」が、百貨店を中心に取扱い店舗数が順調に増加し、大きく売上を伸ばしました。婦人靴全般では「軽く履きやすい靴」の需要が高まっており、春から夏にかけて比較的長い期間履けるウォーキングシューズやカジュアルシューズが好調に推移いたしました。

この結果、当第１四半期連結累計期間の売上高は4,665百万円（前年同四半期比4.5％増）、営業利益は513百万円（前年同四半期比27.5％増）となりました。

③その他

不動産賃貸料の収入など、その他事業の当第１四半期連結累計期間の売上高は77百万円（前年同四半期比12.8％減）、営業損失は４百万円（前年同四半期営業利益４百万円）となりました。

（２）財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第１四半期連結会計期間末における総資産は、30,352百万円となり、前連結会計年度末に比べ225百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金の増加2,223百万円、流動資産のその他の増加299百万円、受取手形及び売掛金の減少1,771百万円、投資有価証券の減少520百万円などによるものであります。

当第１四半期連結会計期間末における負債は、17,811百万円となり、前連結会計年度末に比べ38百万円減少いたしました。これは主に、未払法人税等の減少592百万円、賞与引当金の減少192百万円、流動負債のその他の増加773百万円などによるものであります。

当第１四半期連結会計期間末における純資産は、12,540百万円となり、前連結会計年度末に比べ264百万円増加いたしました。これは主に、利益剰余金の増加108百万円などによるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、当第１四半期連結累計期間までの業績動向を踏まえ、平成25年５月14日に公表いたしました平成26年３月期の第２四半期累計期間及び通期業績予想を修正いたします。

詳細につきましては、本日（平成25年８月２日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## ３．四半期連結財務諸表
### （１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

| | 前連結会計年度<br>（平成25年３月31日） | 当第１四半期連結会計期間<br>（平成25年６月30日） |
|---|---|---|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 3,268 | 5,492 |
| 受取手形及び売掛金 | 6,397 | 4,626 |
| 商品及び製品 | 5,973 | 5,996 |
| 仕掛品 | 217 | 207 |
| 原材料及び貯蔵品 | 535 | 583 |
| その他 | 1,387 | 1,687 |
| 貸倒引当金 | △296 | △296 |
| 流動資産合計 | 17,483 | 18,296 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 土地 | 2,290 | 2,290 |
| その他（純額） | 2,297 | 2,275 |
| 有形固定資産合計 | 4,588 | 4,566 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 19 | 12 |
| 電話加入権 | 25 | 25 |
| ソフトウエア | 13 | 11 |
| その他 | 1 | 1 |
| 無形固定資産合計 | 60 | 50 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 5,304 | 4,783 |
| 敷金及び保証金 | 1,417 | 1,377 |
| その他 | 1,475 | 1,480 |
| 貸倒引当金 | △202 | △202 |
| 投資その他の資産合計 | 7,994 | 7,439 |
| 固定資産合計 | 12,643 | 12,056 |
| 資産合計 | 30,126 | 30,352 |

（単位：百万円）

| | 前連結会計年度<br>（平成25年３月31日） | 当第１四半期連結会計期間<br>（平成25年６月30日） |
|---|---|---|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 3,971 | 3,910 |
| 短期借入金 | 4,466 | 4,606 |
| 未払法人税等 | 857 | 264 |
| 賞与引当金 | 498 | 305 |
| 役員賞与引当金 | 31 | － |
| ポイント引当金 | 437 | 424 |
| 店舗閉鎖損失引当金 | 1 | － |
| その他 | 1,746 | 2,520 |
| 流動負債合計 | 12,010 | 12,032 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 994 | 914 |
| 退職給付引当金 | 3,163 | 3,157 |
| 移転関連損失引当金 | 221 | 221 |
| 資産除去債務 | 190 | 190 |
| その他 | 1,270 | 1,294 |
| 固定負債合計 | 5,840 | 5,779 |
| 負債合計 | 17,850 | 17,811 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 5,355 | 5,355 |
| 資本剰余金 | 690 | 731 |
| 利益剰余金 | 5,613 | 5,722 |
| 自己株式 | △418 | △337 |
| 株主資本合計 | 11,241 | 11,470 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 338 | 365 |
| 繰延ヘッジ損益 | 0 | △0 |
| 土地再評価差額金 | 611 | 582 |
| 為替換算調整勘定 | △6 | 23 |
| その他の包括利益累計額合計 | 944 | 971 |
| 新株予約権 | 30 | 30 |
| 少数株主持分 | 59 | 67 |
| 純資産合計 | 12,275 | 12,540 |
| 負債純資産合計 | 30,126 | 30,352 |

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第１四半期連結累計期間

（単位：百万円）

| | 前第１四半期連結累計期間<br>（自 平成24年４月１日<br>至 平成24年６月30日） | 当第１四半期連結累計期間<br>（自 平成25年４月１日<br>至 平成25年６月30日） |
|---|---|---|
| 売上高 | 8,277 | 8,531 |
| 売上原価 | 4,274 | 4,342 |
| 売上総利益 | 4,002 | 4,188 |
| 販売費及び一般管理費 | 3,354 | 3,438 |
| 営業利益 | 647 | 750 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 4 | 4 |
| 受取配当金 | 11 | 12 |
| 持分法による投資利益 | 33 | 52 |
| 雑収入 | 36 | 67 |
| 営業外収益合計 | 85 | 136 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 27 | 19 |
| 売上割引 | 9 | 8 |
| 雑支出 | 16 | 3 |
| 営業外費用合計 | 52 | 31 |
| 経常利益 | 680 | 855 |
| 特別利益 | | |
| 投資有価証券売却益 | － | 2 |
| その他 | 0 | － |
| 特別利益合計 | 0 | 2 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 4 | 9 |
| 投資有価証券評価損 | 0 | － |
| デリバティブ評価損 | － | 198 |
| 特別損失合計 | 4 | 208 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 675 | 649 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 177 | 258 |
| 法人税等調整額 | 87 | 123 |
| 法人税等合計 | 265 | 382 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 410 | 267 |
| 少数株主利益又は少数株主損失（△） | △4 | 1 |
| 四半期純利益 | 414 | 266 |

四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間

（単位：百万円）

| | 前第１四半期連結累計期間<br>（自 平成24年４月１日<br>至 平成24年６月30日） | 当第１四半期連結累計期間<br>（自 平成25年４月１日<br>至 平成25年６月30日） |
|---|---|---|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 410 | 267 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △30 | 21 |
| 為替換算調整勘定 | 8 | 36 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | △1 | 14 |
| その他の包括利益合計 | △23 | 72 |
| 四半期包括利益 | 387 | 340 |
| （内訳） | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 387 | 332 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | 0 | 7 |

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

Ⅰ　前第１四半期連結累計期間（自 平成24年４月１日　至 平成24年６月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

| | 報告セグメント | | | その他(注)１ | 合計 | 調整額(注)２ | 四半期連結損益計算書計上額(注)３ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 靴小売事業 | 靴卸売事業 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 3,761 | 4,465 | 8,226 | 50 | 8,277 | ― | 8,277 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | ― | ― | ― | 38 | 38 | △38 | ― |
| 計 | 3,761 | 4,465 | 8,226 | 88 | 8,315 | △38 | 8,277 |
| セグメント利益 | 233 | 402 | 636 | 4 | 641 | 6 | 647 |

(注) １　「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸等の事業を含んでおります。

２　セグメント利益の調整額は、主にセグメント間取引消去であります。

３　セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ　当第１四半期連結累計期間（自 平成25年４月１日　至 平成25年６月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

| | 報告セグメント | | | その他(注)１ | 合計 | 調整額(注)２ | 四半期連結損益計算書計上額(注)３ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 靴小売事業 | 靴卸売事業 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 3,824 | 4,665 | 8,490 | 40 | 8,531 | ― | 8,531 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | ― | ― | ― | 36 | 36 | △36 | ― |
| 計 | 3,824 | 4,665 | 8,490 | 77 | 8,568 | △36 | 8,531 |
| セグメント利益又はセグメント損失(△) | 230 | 513 | 743 | △4 | 738 | 11 | 750 |

(注) １　「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸等の事業を含んでおります。

２　セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額は、主にセグメント間取引消去であります。

３　セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。